【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第２区分
【発行日】令和7年2月14日(2025.2.14)

【国際公開番号】WO2024/005012
【出願番号】特願2024-530879(P2024-530879)
【国際特許分類】
Ｈ０１Ｇ　4/32(2006.01)
Ｈ０１Ｇ　2/02(2006.01)
Ｈ０１Ｇ　4/228(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０１Ｇ　4/32　５３１
Ｈ０１Ｇ　4/32　３０５Ａ
Ｈ０１Ｇ　2/02　１０１Ｅ
Ｈ０１Ｇ　4/32　５１１Ｌ
Ｈ０１Ｇ　4/228　　Ｓ
Ｈ０１Ｇ　4/32　５４０

【手続補正書】
【提出日】令和6年12月6日(2024.12.6)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
第１端面電極と、第２端面電極と、第１端面電極と第２端面電極と、を接続する側面とを有するコンデンサ素子と、
前記コンデンサ素子を収容するケースと、
前記コンデンサ素子の前記第１端面電極に接続され、前記ケース内で前記第１端面電極に沿って配置される第１電極接触部と、前記コンデンサ素子の前記側面に沿って設けられた前記ケースの端子露出面から前記ケースの外側に向かって延びる第１端子部と、を有する板状の第１バスバーと、
前記コンデンサ素子の前記第２端面電極に接続され、前記ケース内で前記第２端面電極に沿って配置される第２電極接触部と、前記ケースの前記端子露出面から前記ケースの外側に向かって延びて、前記第１端面電極から前記第２端面電極に向かう方向において前記第１端子部と重なる第２端子部と、を有する板状の第２バスバーと、
前記第１端子部と前記第２端子部との間に配置されて、前記第１端子部と前記第２端子部とを絶縁し、前記第１端子部の一方主面に接触する第１面と、前記第２端子部の一方主面に接触する第２面と、を有する絶縁体と、
前記ケースに充填される封止樹脂と、
を備える、
コンデンサモジュール。
【請求項２】
前記コンデンサ素子は、誘電体フィルムの積層体により構成され、
前記誘電体フィルムのガラス転移点は、１２０℃以上である、
請求項１に記載のコンデンサモジュール。
【請求項３】
前記コンデンサ素子の前記側面は、一対の平坦部と、前記一対の平坦部を繋ぐ一対の湾

曲部と、を有し、
前記第１バスバーは、前記第１電極接触部と前記第１端子部とを繋ぎ、前記平坦部に沿って配置される第１延伸部、を有する、
請求項１に記載のコンデンサモジュール。
【請求項４】
前記第２バスバーは、前記第２電極接触部と前記第２端子部とを繋ぎ、前記平坦部に沿って配置される第２延伸部、を有する、
請求項３に記載のコンデンサモジュール。
【請求項５】
前記第１バスバーは、前記第１電極接触部から延びて、前記ケースの前記端子露出面と異なる面から露出する第３端子部を有し、
前記第２バスバーは、前記第２電極接触部から延びて、前記ケースの前記端子露出面と異なる面から露出する第４端子部を有し、
前記第１端子部と前記第２端子部とは出力端子として機能し、前記第３端子部と前記第４端子部とは入力端子として機能する、
請求項１に記載のコンデンサモジュール。
【請求項６】
前記第１端子部および前記第２端子部は、交流端子であり、前記第３端子部および前記第４端子部は、直流端子である、
請求項５に記載のコンデンサモジュール。
【請求項７】
前記第３端子部と前記第４端子部とは、平面視において重なっていない、
請求項５に記載のコンデンサモジュール。
【請求項８】
前記第１電極接触部には、厚み方向に貫通する第１貫通孔が形成され、前記第１貫通孔の外形は、前記第１貫通孔の内側に向かって前記第１電極接触部の一部が突出した形状の第１実装部を構成し、前記第１実装部は、前記端子露出面に近付く方向の端部が前記第１電極接触部と繋がっており、
前記第２電極接触部には、厚み方向に貫通する第２貫通孔が形成され、前記第２貫通孔の外形は、前記第２貫通孔の内側に向かって前記第２電極接触部の一部が突出した形状の第２実装部を構成し、前記第２実装部は、前記端子露出面に近付く方向の端部が前記第２電極接触部と繋がっている、
請求項１に記載のコンデンサモジュール。
【請求項９】
前記第１端子部には、前記コンデンサ素子を外部装置に電気的に接続するための第１スタッドが配置され、
前記第２端子部には、前記コンデンサ素子を外部装置に電気的に接続するための第２スタッドが配置され、
前記第１スタッドと前記第２スタッドとは、逆向きに突出している、
請求項１から８のいずれか１項に記載のコンデンサモジュール。